

科 目	国語総合	単 位 数	2 単位	年 間 授 業 時 間 ( 予 定 )	7 0 時間
対 象 学 年 ・ ( 組 )	1 年 ( 1 ～ 6 組 )	使 用 教 科 書 ( 出 版 社 )	新 高 等 学 校 国 語 総 合 ( 明 治 書 院 )		
	必 修	補 助 教 材 等	最 新 国 語 便 覧 ( 浜 島 書 店 ) 標 準 漢 字 演 習 ( 東 京 法 令 出 版 ) 新 精 選 古 典 文 法 ( 東 京 書 籍 )		

教 科 担 当 者

指導内容	具体的な指導目標	指導内容	具体的な指導目標	指導内容	具体的な指導目標
授業なし		「サーカス」 「かぐや姫の生い立ち」	直喩、暗喩の理解 「竹取物語」の文学史について理解する。	「富嶽百景」百人一首	作者の経歴や代表作を確認 百人一首の和歌を調べ、修辭法の種類を理解する。
「どうすれば虹の根元に行けるか」 歴史的仮名遣い	文章中の筆者の主張を把握する。 古文について理解する。	「サーカス」 「かぐや姫の生い立ち」	場面ごとの人物の行動や心情出来事を読み取ることができる。本文中の用言の活用を見分けることができる。	「富嶽百景」「和歌」	作者の意図や主張を理解する修辭法を確認する
「水の東西」 歴史的仮名遣い	文章中の指示語に着目する。「歴史的仮名遣い」について理解する。	「サーカス」 「かぐや姫の生い立ち」	擬人法の理解 場面ごとの人物の行動や心情出来事を読み取ることができる。	「富嶽百景」「和歌」	語句について理解する。作者の心情を読み取る。
「水の東西」 歴史的仮名遣い	文章中の接続語への着目 歴史的仮名遣いに注意して「いろはうた」を音読することができる。	「サーカス」 「かぐや姫の生い立ち」	比喩表現を踏まえての解釈と鑑賞 場面ごとの人物や心情、出来事を読み取ることができる。	「富嶽百景」「和歌」	感想文を書く。作者の心情を読み取る。
「羅生門」「児のそら寝」	作者の経歴、代表作の理解 歴史的仮名遣いに注意して本文を音読することができる。	「海の方の子」 「芥川」	情景や心情の変化の理解 「伊勢物語」の文学史について理解する。	「富嶽百景」「能登殿の最後」	太宰治が師と仰ぐ井伏鱒二について考える。「平家物語」の文学史を理解する。
「羅生門」「児のそら寝」	比喩表現の理解 主語を把握することができる。	「海の方の子」 「芥川」	文体の効果についての説明 場面ごとの人物の行動や心情出来事を読み取ることができる。	「富嶽百景」「能登殿の最後」	太宰治の他の作品について話し合う。本文中の用言の活用を見分けることができる。
「羅生門」「児のそら寝」 「漢文入門」	場面ごとの人物の行動や心情出来事を読み取ることができる。	「海の方の子」 「芥川」	語句や比喩についての理解 和歌に込められた心情を理解することができる。	「富嶽百景」「能登殿の最後」	太宰治の生涯について調べる。風景、場面、登場人物を把握することができる。
中間考査		中間考査		「富嶽百景」「能登殿の最後」	太宰の生涯について理解する。風景、場面、登場人物を把握することができる。
「羅生門」「品詞」	登場人物の言動の理解 「品詞」の種類と役割について考える	「海の方の子」 「漢文入門」	表現技法の理解 訓点、再読文字、置き字、句法など漢文の基本的な決まりを理解することができる。		
「羅生門」「動詞」	登場人物の心情の変化の読解 動詞の正格活用について理解し、活用表を書くことができる	「働くことの意味」 「鶏口牛後」	文の成分の理解 「十八史略」の文学史を理解する。	学年末考査	
「羅生門」「動詞」	動詞の変格活用について理解し、活用表を書くことができる。	「働くことの意味」 「鶏口牛後」	照応関係の理解 本文を書き下し文にする。	小説 敬語	好きな小説を読む。古典における物語を理解する。
「羅生門」「検非誦 非使忠明」	各段落の要約 主語を把握することができる。	「働くことの意味」 「鶏口牛後」	登場人物の考えヲ読み取る。文章の論理的展開の理解。	小説 敬語	感想を発表をする。敬意の方向を判別することができる。
「羅生門」「検非誦 非使忠明」	全体の要約 登場人物の心情を理解することができる。	「働くことの意味」 「鶏口牛後」	段落の要約 登場人物の考えを読み取る。		
		「働くことの意味」 用言の復習	文章全体の要約。用言の活用表を書くことができる。		
期末考査		期末考査			
「形容詞、形容動詞」	筆者の意図の理解 形容詞、形容動詞について理解し活用表を書くことができる。	「近代短歌」「助動詞・けり」	正岡子規の短歌の鑑賞 過去の助動詞(けり)の意味と活用を理解する。	<b>【評価の観点・方法】</b> 【評価の観点】 「現代文・古典文学への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読解力」 【評価方法】 定期考査、提出物、授業態度、作文等の課題等の提出状況などにより、総合的に評価する	
		「近代短歌」「助動詞・き」	若山牧水の短歌の鑑賞 過去の助動詞(き)の意味と活用を理解する。		